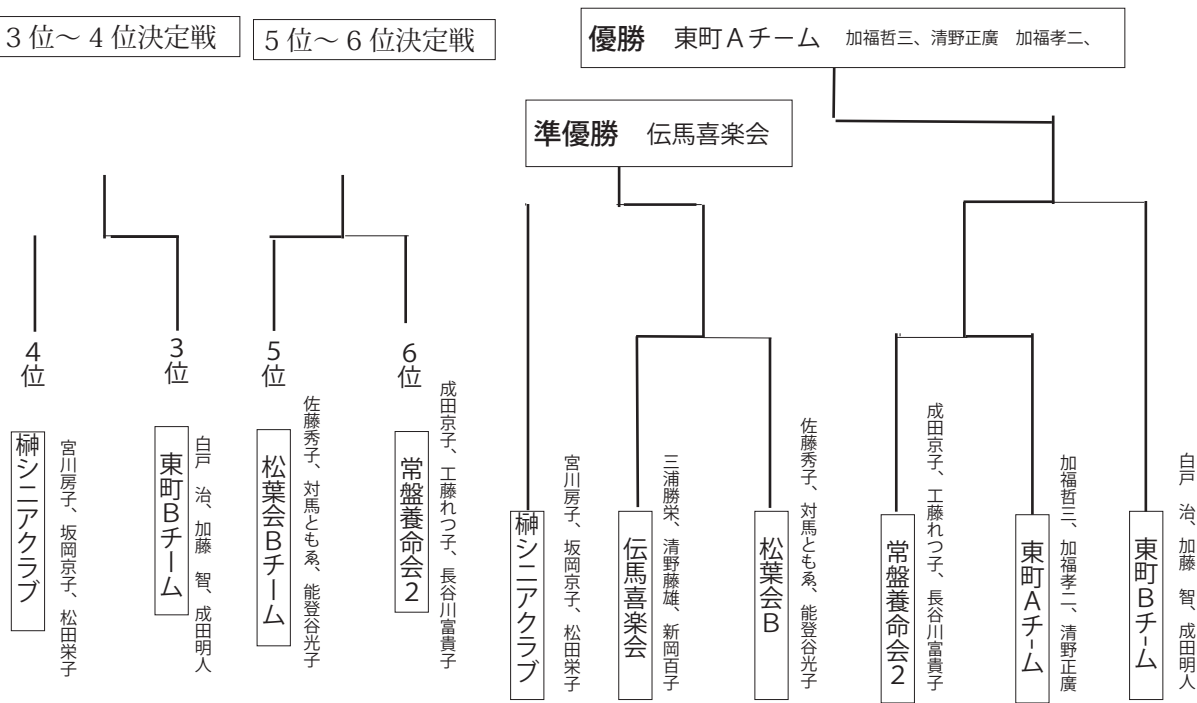


輝いた練習成果 シニア連会長杯 ペタンク大会

6月27日(金)9時より、第7回シニア連会長杯「ペタンク大会」が開催された。参加チームの選手39名と役員・スポーツ推進員等で合計60人ほどになった予選リーグでは、どのチームも実力が拮抗し、熱戦が続いた。

予選を勝ち上がった6チームが決勝トーナメントに進み、経験豊富な強豪、「東町A」チームが優勝した。



発行 者
藤崎町シニアクラブ連合会
藤崎老人福祉センター内
☎ 0172-75-3232
Fax 0172-75-2128



優勝 東町A 左 加福哲、中 清野、右 加福孝

シニア連ペタンク大会出場選手

令和7年6月27日(金)

コート番号		チーム名	選 手 名			
1	A	伝馬喜楽会	三浦 勝栄	清野 藤雄	新岡 百子	
	B	西豊田豊寿会	小田桐博子	福士 キワ	間山 キミ	
	C	常盤養命会2	成田 京子	工藤れつ子	長谷川富貴子	
2	A	桜組	佐藤 睦子	工藤 ヒサ	神 昭子	
	B	吹き矢	木村 京子	鳴海三重子	小林 明美	
	C	神シニアクラブ	宮川 房子	坂岡 京子	松田 栄子	
	D	亀田悠遊会	葛西 鉄美	平山 久雄	成田 久一	
3	A	東町Aチーム	加福 哲三	加福 孝二	清野 正廣	
	B	常盤養命会1	白取 正美	小山内瞭二	三上 一	
	C	松葉会Bチーム	佐藤 秀子	対馬とも系	能登谷光子	
4	A	東町Bチーム	白戸 治	加藤 智	成田 明人	
	B	女性部	福田 夏子	成田 隆子	清野チル子	
	C	松葉会Aチーム	佐藤 文雄	佐々木二三雄	対馬 勇一	
		合計	39名			

シニア連 第1回理事会のお知らせ

各単位クラブ会長

各専門部長・広報・若手・女性委員長」各位

第1回理事会を左記日程で開催します。

一、日時 8月28日(木) 10時

二、場所 町文化センター 多目的ホール

三、案件

(1)長寿顕彰式・健老の集いについて

(2)理事研修旅行について、

四、その他

夏季トランプ大会のお知らせ

一、日時 8月23日(土) 受付 午後12時30分

試合開始 午後1時

二、場所 藤崎老人福祉センター 集会室

三、対象者 老人クラブ会員で男女は問いません。

四、種目 個人戦のみ(午後3回戦)

☆3回戦の合計点数で順位を決定。

五、会費 千円(賞品代・当日集金)

六、申込締切 8月15日(金)

①大会は町シニア連大会ルールで行い、その他

必要な事項については、当日説明します。

②表彰は1位、10位迄と飛び賞、当日賞、

B賞、B賞です。

また参加者には参加賞を差し上げます。

③昼食はありません。

④大会会場で、賭け・飲酒・喫煙は禁止です。

七、単位クラブ会長へお願い

参加申込書を【白寿八月号】に同封しますので、

会員の参加希望者に配布して下さい。

【白寿】原稿 投稿のお願い

平成17年に常盤・藤崎老人クラブ連合会が合併し同年9月に機関紙【白寿】第1号が発行されました。それから20年経過し、次号の9月1日号が240号となり満20年となります。この機会に20年を振り返り、会員皆様の単位クラブの活動の思い出や苦労話など本紙へのご意見をご投稿頂き、紙面にて発表していく予定です。

記事は四百字詰め原稿用紙一、二枚程度

内容は自由です。会員皆様の投稿をお待ちして居ります。

シニア連女性部 研修旅行のお知らせ



JR 五能線木造駅舎

亀ヶ岡遺跡から出土した遮光器土偶(通称しゃこちゃん)の形をした迫力ある駅舎です。列車の到着時にはしゃこちゃんの目が七色に光り教えてくれます。

つがる市観光ガイドより転載

巨人モチーフ木造駅

しゃこちゃん

一、期 日 9月4日(木)

二、研修先 つがる市縄文住居展示資料館カルコ

(大型竪穴住居建物を復元しており、縄文時代の生活が再現されています。また、遮光器土偶

等の精巧なレプリカのほか土器・石器などを展示しています。)

三、休憩先 稲垣温泉ホテル「花月亭」

四、参加料 二千二百円 当日集金

五、集合 藤崎老人福祉センター 8時50分

六、出発時刻 9時(稲垣温泉の送迎バス使用)

七、申込締切 8月20日(水) 先着28名

八、復路 稲垣温泉ホテル「花月亭」発 3時

途中、つがる市「農産物直売所」(柏地区)で

買い物等

九、藤崎老人福祉センター着 4時の予定

是非ご参加の程、お待ちしております。

※お問い合わせ 75-2349 (福田夏子)

8 月 行 事 予 定 表		
日	曜	行 事
1	金	役員研修会・シニア連役員会
2	土	レクダンス部
3	日	
4	月	
5	火	囲碁・将棋部
6	水	
7	木	囲碁・将棋部
8	金	日本舞踊部
9	土	レクダンス部
10	日	
11	月	山の日
12	火	囲碁・将棋部
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	レクダンス部
17	日	
18	月	生け花部 芸能部 広報委員会
19	火	囲碁・将棋部
20	水	花火大会
21	木	囲碁・将棋部
22	金	日本舞踊部
23	土	レクダンス部 夏季トランプ大会
24	日	
25	月	芸能部
26	火	囲碁・将棋部
27	水	茶道部
28	木	シニア連理事会 囲碁・将棋部
29	金	【白寿】配布日
30	土	レクダンス部
31	日	

老いを愉しく 第十七回

元ときわ会病院長 永山 隆造

《苦勞の試練から日々の感謝へ その六》

前回までは太平洋戦争以前に生まれた私が経験した生活の困難さを書いてきました。

先日、私と同年で、この白寿の編集・発行の労を取られている大川雄弘氏からメールを頂き、大川氏も私と同様な、或いはもっと大変な苦勞をされていたことを知りました。

戦前・戦中生まれの人達は、戦後（昭和二十年以降）生まれの人は知らない多くの悲惨な経験をぐぐり抜けてきました。

戦後生れの人達でも電気洗濯機・電気炊飯器・電気冷蔵庫・テレビ・電話などの無い時代の家庭生活や、耕耘機・トラクター・田植え機・稲刈り機・ス皮ードスプレーヤー・除草剤・化学肥料などが普及する前の農家の人達は、今と比べて大変な苦勞を経験したはずです。

私は多くのお年寄りの患者さん、特に一人暮らしのお年寄りから「毎日なんも楽しい事も、面白れーこともねえー、早く死にてーじゃー！」という声を聞いてきました。

年を取り体力が衰え慢性の病氣を抱えると、今後の人生に不安を感じることが多くなります。

前に書きましたが「不安・淋しさ・怒りなどのマイナス感情が溜まるとストレスとなり「頭痛・頭持ちが悪い・動悸・耳鳴り・みぞおちの痛み・不眠症・寝汗」などに悩むようになり、医師に訴えると「自律神経失調症」と診断され「精神安定剤」を処方されたりしますが、本当はマイナス感情が自律神経に悪影響しているので、安定剤よりマイナス感情を除くことが必要なのです。

藤崎町の総人口は約一万五千人で、六十五才以上は約四千七百人（約三十四％）です。また藤崎町の全世帯数は約六千三百世帯で、六十五才以上の一人暮らし世帯は約一割の六百数十世帯です。そして六十五才以上の七人に一人が一人暮らしです。

本紙の読者の皆様が毎日を愉しく暮らせれば、これからの人生は健康で元気な日々になると思います。次回から愉しくなる方法を考えることにします。

常盤ひとり旅

最終回 石澤清五郎

蛍の光の巻 其の二

弘前藩の行政区画は、田舎庄常盤組として常盤村（以下村を略す）榊・若松・徳下・徳田・十川（福島）・葛野・矢澤・小畑・俵升・中島・水沼・中野目・五林・柏木堰・吉向・亀岡・西中野目・下俵升とあり。増館組は水木・福館・富柳・久井名館・増館・目鹿沢・下十川・赤茶・佐野・松枝・杉・銀・樽沢・三好・郷三枚・吉野田とある。藤崎組は林崎・深味・長野・太田・辻・横沢・飯田・藤崎・藤越とあり、明治二十一年町村制の公布により明治二十二年四月一日、常盤・若松・徳下・福島・榊が合併して常盤村となり、久井名館・水木・富柳・福館が合併して富木館村となり、葛野・藤崎・藤越が藤崎村となった。

また矢澤・水沼・柏木堰・俵升・下俵升・五林・中野目・西中野目・亀岡・吉岡・中島・小畑の十二カ村が合併して十二里村と称した。昭和二十八年の町村合併促進法により常盤村と富木館村が昭和二十九年五月三日合併し常盤村となった。（昭和三十年十一月三日 田舎館村高田地区と徳下字三ツ屋と一部境界変更により大字三ツ屋を設置）

かくして平成の合併により平成十七年三月二十八日常盤村と藤崎町（町制施行大正十二年五月十日）が合併して藤崎町となった。

以上の経過をたどって常盤村という名前は行政上姿を消してしまった。

（参考 新撰陸奥国誌によれば戸数常盤四六、若松二五、榊六九、徳下三六、十川（福島）一二四、水木一〇四、福左内四一、久井名館六七、富柳四八、福館七七と記されている）

よって藩制時代からの名前は藤崎だけが残り各村は大字と押し込められてしまった。常盤という言葉はどこから出て来て誰がつけたかは文献は全くない。貞享三年（一六八六）に本柳村を常盤村と改称、天和元年（一六八一）常盤組代官所を小畑村に置く。と常盤村史略年表に書かれてあり三二〇有余年使われて来た常盤村の名前は消え、かろうじて大字として常盤が残ることになったのは心のなぐさみだろう。明治の合併で日本に「ときわ」と呼称した地区は

十三町村あった（本紙平成四年七月号参照）。それが昭和の合併で我がふるさと常盤村と福島県田村郡の常葉町の二カ所が生き残ったのだが、福島県の常葉町は今年三月一日田村郡の滝根町、大越町、都路村、船引町と合併して田村市となり地方公共団体の名前としてはときわと名のつく所は、日本国から姿を消してしまったことになる。

だが、旅行すると小字か略称が目にするところがあるや、日本国語大辞典には「…とこいわの変化した語。常に変わらない、岩、転じて永久に続くこと…」また孫の辞典には「一年中緑の葉をつけ永久に変わらない木を常盤木と言う」とありおめでたい言葉である。

平成四年矢立を腰に旅に出てから十三年「爺ちゃ婆ちゃから聞いた常盤の風俗」と合わせると延十七年誌面をけがしてしまった。

その間非常に多くの方からお教えをいただき、はげましの言葉にふるいたたされ、今日まで筆を執ることが出来た。感謝の念で一杯です。

◆ 歯なしの話 159 ◆

動植物

佐藤 透

藤崎町の平川付近にあるリンゴ園の枝の隙間から白鳥が数羽一緒に飛んで行くのが見られた。

町の人はそろそろ春近しと感じていると思う。

以前、春先に秋田北空港（大館・能代）のゴルフ場で何気なく顔を上げたら、ジットこちらを見ている動物が居た。天然記念物のニホンカモシカである。彼（彼女）は恐れもせず身じろぎもしないで、こちらの成行きを見ていた。彼を脅かさない限りそのままの姿勢である。きつと私のフレーの粗末さを眺めているのであろうか？

以前に米国人がリスを食べる話をしたが、住宅近くのそこら中にリスはいる。また、日本でも札幌市動物園の園内の林ではシマリスが平気で走り回っている。余り人を恐れもしないようである。

米国のリスも然り。信州の山では比較的高い山には氷河期の生き残り特別天然記念物のライチョウが居るが、めったに見られない。もし、お目にかかれたらラッキーである。

上高地の梓川上流のカッパ橋付近には巨大なイワナがウジャウジャいる。そこは鳥獣保護区で狩猟禁止であり、魚も快適に過ごしているのである。

私は鳥も花も勉強不足で何だか分らないのだが、少々自宅の庭に来る鳥や山草の名前くらい覚えておきたいものである。もしかしたら学校で教えていても私が興味が無くサボったせいかも知れないが、何という名前だろうと思うことがある。樹木についても同様である。

漬物の話をするが、野沢菜は根菜類のカブの一種である。根の所にカブがあり、信州野沢温泉では、このカブの部分も食する。また、野沢の野沢菜は他地区の物より太く大きい。そしてスキーシーズン終わりの頃（2、3月）はアメ色になり、また美味である。温泉水で洗ってから漬けるためとか言う話であるか、昔京都から持ち込まれたカブの一種だとか。本物のものは味が良いよネ。

桜島小みかん、お供えモチの上に載るような小さな小さなミカンである。出来そこないのように思える程のサイズで、普通のミカンの四分の一程である。このように記事に書くのであるから、さぞや美味かろうと思うでしょう。実は、実は本当に美味なのである。鹿児島県の桜島周辺と言う限定品である。生産数が限られているので全国的に流通しにくい果物をの一つだそうである。

さてつれづれなるままに動植物についてコメントしてみた。楽しめたでしょうか。

川柳 藤崎地区

ちよちよじ

ひとことの言わぬが花が咲きました

トミエ

鯉のぼり仲間探しに大振り舞

滝 扇

痛みのない日のなんというありがたさ

さち子

本当の主役は塩のひとつまみ

波 麻

姉二人雪と桜の中で逝く

羊 川

解釈の仕方ひとつで青い空

川 魚

脳味噌のカビ取り出せぬ認知症